

VI. 2021 年度活動計画

1. 自主防災組織活動方針

昨年度はコロナ禍で防災訓練を除き、主要行事を中止せざるを得ませんでした。今年度も予断できない状況ですが、コロナ禍が収まったときに開催することを想定して、以下のように活動計画を立てます。

- ① “自分の命は自分で守る。我々の街桜ニュータウンは住民みんなで守る”を基本に、住民の防災意識と防災知識・能力を高める。
- ② 当面予想される大地震や火災、台風等の被害を軽減・防止するため、平常時における防災知識の普及・啓発・広報につとめる。日赤減災セミナー、救急救命講習会、防災訓練、防災住民意見交換会、を開催して災害時に備える。9月と3月に防災の日と防災週間を設定し、備蓄品等の確認を行う。
- ③ 引き続き、土浦市にある筑波研究学園専門学校を災害時の一時避難所として利用できるよう、学校、行政及び近隣の自治会と協議を進める。
- ④ 井戸水の浄水器使用による水質確認を行うとともに、災害時の生活用水を確保するため、中央公園に災害用井戸を整備する計画の住民合意をはかる。
- ⑤ 自主防災組織は住民全員が会員の組織。住民にオープンな防災会議をめざし、防災会議の開催案内を広く会員の皆さまにお知らせします。
- ⑥ オンライン会議ソフトを活用して、定期的な役員会を継続して開催していく。

2. ひなん支援部会

- ① 災害時ひなん支援希望者調査を実施(5月予定)し、災害時に備える。
 - ・支援希望者リストを更新し、必要に応じてサポーターを決める。
 - ・安否確認で使用する名簿と地図を作成し、倉庫に保管する。
 - ・支援希望者宅の訪問を年3回実施する。
- ② 日本赤十字減災セミナーを実施する(6月予定)。
- ③ 防災訓練で安否確認を担当する。

3. 情報部会

- ① 自主防災活動の広報
 - ・「防災だより」を発行して各種催し物の案内や報告、生活に役立つ情報を紹介する。
 - ・掲示板の有効活用を図り、各種案内・情報が全住民に伝わるようにする。
 - ・ホームページによる訓練や講習会のお知らせ、防災だよりの掲載、自主防役員会の議事録などの掲載を行い自主防災組織の活動状況が分かるようにする。
 - ・災害時には掲示板、ホームページ、防災メール、街宣車を使用して情報を提供する。
 - ・防災メールにより、地震・台風・強風・大雨・高温など異常気象が予想される場合および周辺での災害発生状況などについて注意喚起の発信を行う。
- ② 防災メールおよびホームページの管理運営
 - ・メール登録者数の拡大を目指すとともに、防災メール登録促進用チラシを作成する。
 - ・ホームページから常に新しい情報が提供できるように随時更新を行う。
- ③ 防災について考える会の開催(予定)
 - ・防災住民意見交換会を「ちょっと防災について考えよう」シリーズとして、避難の仕方や避難所の在り方などについて、楽しみながら学んだり考えたりする会として開催する。

4. 訓練部会

- ① 防災訓練(10月予定)
 - ・安否確認、災害対策用資機材の取扱い説明と使用体験、消火栓取扱訓練(中央区)を予定。
 - ・防災訓練実施のための事前打合せ・準備を行う。
- ② 救急救命講習会(2月予定)